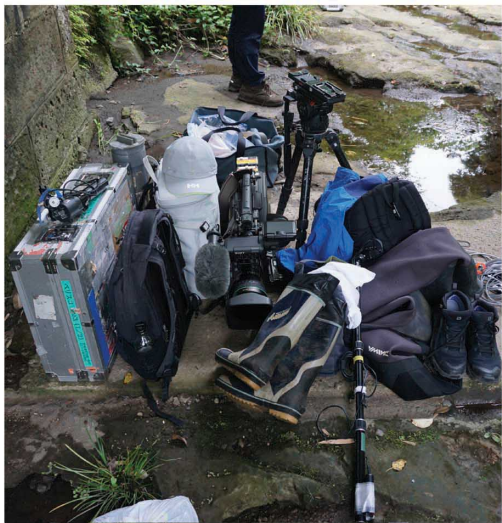


ダーウィンが来た！ 番組を終えて

このコーナーは、市内山ノ内
で釣りに関するアドバイス
などを行う(株)フィッシュナビ
の代表で、「魚の専門家」
の八島洋二さんから寄稿
いただいています。

8月14日の放送以降、多くのお便りを頂き、誠にありがとうございました。今回のお便りの中でご要望が多かった「ロケの舞台裏」について、お話をしたいと思います。

ロケ期間は春と初夏でしたので、やはり川の主役を飾るのは若アユに尽きます。映像としては、春に遡上した稚アユよりも、その後成長した若アユの方が活発で見応えがありますので、ロケは出来るだけ終盤（かつ梅雨に入るギリギリ前）に持っていく必要があります。



最新の撮影機材にビックリ！

り、常に天気予報と睨めっこしながら撮影スタッフと協議する日々でした。運がよければウナギがカニを襲うシーン、更に欲を言えば、幻の魚アユカケがアユをハンティングするシーン（もし成功すればスクープ映像）もメニューに盛り込まれていましたが、残念ながら姿を現すことはありませんでした（予想がハズレしません）。

炎天下、ブユの猛攻、夜通し…、そんな過酷な状況下で、みごと鎌倉の自然を表現してくださった撮影スタッフには、心から感謝致します。そして、今回のテレビ放映は、2年前から鎌倉に棲む淡水魚の話題を取り上げてくださったタウンニュース、それを支えて下さった読者皆さんあってのこと。本当にありがとうございました。

今後の目標は、市内の河川を制覇すること。コツコツ地道に頑張りますので、楽しみにしてください。